

## 平成 30 年度研究プロジェクト計画概要

研究種別	■自主研究 4	公益目的事業 16
主査名	岩尾詠一郎 専修大学商学部教授	
研究テーマ	ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービス実施のための条件に関する研究	
<p>近年の少子高齢化による、過疎化問題や高齢者の介護問題や医療問題、生活の 24 時間化、国際化、ICT 化などにより、人々のライフスタイルが変化している。</p> <p>この少子高齢化、生活の 24 時間化、国際化、ICT 化は、小口貨物の多頻度輸配送の増加等の物流サービスに影響を与えることがある。そのため、ライフスタイルの変化により、新たな物流サービスが必要となる場合もある。このとき、新たな物流サービスを実施する場合に必要な条件を明らかにしていく必要がある。</p> <p>そこで、本研究では、具体的な新たな物流サービスの実施事例から、ライフスタイルの変化にともない必要となる新たな物流サービスを実施するときの条件を明らかにする。</p> <p>具体的には、ライフスタイルの変化と新たな物流サービスに関する研究テーマとして、①「ICT 化と少子高齢化が商取引経路と物流経路に与える影響」、②「都心部に立地する事業者への共同配送の類型化と効果の検証」、③「コンパクトシティの実現が物流と環境に与える影響」、④「動脈物流と静脈物流を組合せた輸送が中山間地域の物流と環境に与える影響」の 4 つを取り上げ、それぞれのテーマにおいて WG を設ける。</p> <p>そして、それぞれの WG において、まず、新たな物流サービスの実施事例から「本研究で検討する新たな物流サービスを示すとともに、新たな物流サービスの特徴」を明らかにする。次に、「新たな物流サービスを実施するための条件の検討」をする。最後に、「新たな物流サービス実施のための条件」を明らかにする。</p> <p>以上の分析を通して、具体的にどのような条件であれば、新たな物流サービスが実施可能であるかが明らかになる</p>		